

# 経済為替ニュース

SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LIMITED FX NEWS

第2171号

2013年07月22日(月曜日)

## 《 real test for Abenomics 》

昨日投開票が行われた参議院の改選121議席の行方に関しては、以下のように最終的に決定しました。

自民党	公明	みんな	維新	共産	社民	諸派	無所属	民主
65	11	8	8	8	1	1	2	17

各種事前調査・予測がその可能性を強く指摘していたよりも強烈的な「民主党の大敗北」で終わったと言える。同党の改選は「44」だったので、半分にも届かず、かつ20をも割った。

全国唯一の5人区である東京で公認候補者を一人に絞ったにもかかわらず議席を取れず、また全国の他の大都市など重点選挙区でもまばらにしか議席を確保できない惨状だった。有権者が3年半続いた民主党政権時代の「日本の政治に乱れ」「日本の国際環境の悪化」に呆れ、根強く持った「民主党アレルギー」「民主党不信」を今も強く持っていることを示した。民主党は選挙区選挙では僅かに「10」しか議席を取れなかった。同党をわずかに救ったのは比例での「7」の議席確保くらい。

今朝の段階で、「(海江田代表や細野幹事長など)誰かが責任を取って辞意を表明」という事はないようだ。しかしこれは責任問題になるでしょう。それ以上に、「この政党は今後どうなるのか」というより大きな疑問・壁に直面する可能性が高い。私が出演していた開票速報で民主党本部を担当した記者は、「民主党の方々は茫然自失でした」と言っていたのは、今後同党が直面する問題(存在維持も含めて)の大きさを物語っている。

民主党敗北で空いた「27」の議席以上に議席を増やしたのは自民党で、改選「34」に対し「31」議席も足して「65」議席となった。「倍増も」と言われていた中ではやや少ない気がするが、連立与党の公明党(「11」の議席確保)を合わせると、与党の議席は合計「76」、非改選の「59」と合わせると「135」議席と、参議院全議席「242」の過半数(122)を大きく上回る。選挙前の自公103議席から32議席も増やした。「ねじれ」は完全に解消した、と言える。興味深いのは第三極と言われた「維新」「みんな」が「共産」とそろって「8」議席を仲良く取ったこと。しかし総括的に言うと共産の「8」は躍進(選挙区で複数議席を10数年ぶりに確保)と言えるが、「維新」「みんな」は数こそ

選挙前より伸びているものの、「勝利」とは言えない。今回の選挙で両党とも「地域政党」の域を出ていないことを露呈した。

22日の東京市場がこの選挙結果をどう受け取るかに関しては、かなり「(連立与党の大勝の) 事前の織り込みが進んでいた」可能性もあり、分からない部分が残る。今朝6時前のドル・円相場の動きなどを見ると、実に落ち着いている。先週末のニューヨーク市場の100円台の半ばの引けに対して、やや円高の100円台の前半となっている。

株価の動きも事前予想は難しいが、連立与党の大勝利そのものは「歓迎できない結果」ではないことは確かで、今後は「安倍政権が進める構造改革の中味、そしてスピード」に関心に移すだろう。いままでは「ねじれ」を改革が進まない理由に出来ていたが、今後は本当の意味で「自民党内の抵抗勢力」「既得権益団体」「一部官僚機構」と安倍政権がどう対峙して、アベノミクスが日本経済の長期的改革に取り組むのかをマーケットは見守ることになる。

-----

二つの見方が出来る。選挙後の記者会見で安倍首相は「経済の改革方針が支持されたわけで、これを着実に進める」と述べており、「法人税の引き下げなど株式市場が望む改革が進む」という見方と、逆に「衆参両院で安定多数を取ったことにより、政権や党のタガが緩んで、むしろ安倍首相そのものが抵抗勢力に取り込まれる」との見方がある。また安倍首相が近隣諸国（中国、韓国など）との摩擦を惹起する歴史問題に関わる立場の表明や、今後の日本の行方に国際社会（アメリカを含めて）が疑念を抱くような立場を取る危険性もある。その辺をマーケットは注視するだろう。

### 《 carefully calibrated and clearly communicated 》

同じくこの週末にモスクワで開かれたG20は、展開した議論は興味深いものの特にマーケットに影響を与えるような材料にはならないと考えられる。バーナンキの量的緩和策縮小に関しては予想通り声明 (<http://www.g20.utoronto.ca/2013/2013-0720-finance.html>) で取り上げられて、以下の文章が残った。声明の7項目目です。

「7. Monetary policy should be directed toward domestic price stability and continue to support economic recovery according to the respective mandates of central banks. We recognize the support that has been provided to the global economy in recent years from accommodative monetary policies, including unconventional monetary policies. We remain mindful of the risks and unintended negative side effects of extended periods of monetary easing. Future changes to monetary policy settings will continue to be carefully calibrated and clearly communicated. We reiterate that excess volatility of financial flows and disorderly movements in exchange rates have adverse implications for economic and financial stability.

Sound macroeconomic policies and strong prudential frameworks will help address potential volatility. We will continue to monitor financial market conditions carefully.」

言っていることは、「(出口戦略は) 注意深くやれ」「国際的に影響が大きい」ということだけで、ではその声明によってアメリカの金融政策が縛られるかと言えばそうではない。そもそもバーナンキは今回の会合には出席していない。加えて、議長だったロシアのシルアノフ蔵相は「"At times of economic stagnation, quantitative easing is justified. The issue is what to do next without risks and negative implications for economies. There are no clear recipes for that."」と述べている。

この点に関してウォール・ストリート・ジャーナルは「While central bankers acknowledged the need to explain their measures to other G-20 members and to take the negative side effects of their policies into account, there is a limit to what practically can be done at the international level, officials say.」と述べている。つまり、一応声明は注文をつけた形となっているが、新興国サイドはバーナンキの金融政策遂行を具体的に「こう変えろ」ということは出来ない、ということだ。これは当然だろう。

バーナンキの量的金融緩和の縮小計画と同じくらいに取り上げられる筈だった中国のシャドーバンキング問題に関しては、直前に中国が中国人民銀行名で国内銀行が設定できる貸出金利の下限を撤廃すると発表。「一応の対策を取った」という形になって、G20 ではあまり大きな問題とはならなかったようだ。中国の新規則は20日から適用され、これまでは政策金利である基準金利を30%下回る水準を貸出金利の下限としていたが、今後は自由となる。中国の1年物貸出基準金利は現在6%。ただし、預金金利の上限は据え置かれたまま。中国の金融自由化はまだ始まったばかりだ。

今回中国が取った措置により企業の銀行からの資金調達コストが下がり、また金融機関の金利設定能力も高まる。その意味では減速感が著しい中国経済にはカンフル剤となり得る。しかし既に100兆円とも130兆円とも言われているシャドーバンキングの貸出残高を足早に減らすことにはならないだろうし、高い金利の貸出金の回収見込みが著しく改善するわけでもない。そういう意味では、中国のシャドーバンキング問題は依然として中国にとって解決が急がれる緊急の課題といえる。

-----

今週の主な予定は以下の通り。

- |             |                                  |
|-------------|----------------------------------|
| 07月22日(月曜日) | 6月スーパー売上高・6月コンビニ売上高<br>米6月中古住宅販売 |
| 07月23日(火曜日) | 日本の月例経済報告<br>米5月FHFA住宅価格指数       |
| 07月24日(水曜日) | 6月貿易統計                           |

	中国 7 月 HSBC 製造業 PMI 指数速報値
	独 7 月 PMI 指数
	ユーロ圏 7 月 PMI 指数
	米 6 月一戸建て住宅販売
0 7 月 2 5 日 (木曜日)	6 月企業向けサービス価格指数
	韓国 4~6 月期 GDP
	独 7 月 Ifo 企業景況感指数
	米新規失業保険申請件数
	米 6 月耐久財受注
0 7 月 2 6 日 (金曜日)	6 月全国・7 月都区部消費者物価
	米 7 月ミシガン大学消費者態度指数改定値

### 《 have a nice week 》

週末はいかがでしたか。一時の暑さからは開放されましたが、それでも外を歩いていると嫌でも汗が流れる夏日でした。そして日曜日は参議院選挙。投票率が低かったのは予想通りでしょうか。でも 50% を割らなかつたのは良かった。今朝起きて嬉しいニュースは、ゴルフの松山英樹選手が全英オープンで最終的にタイガー・ウッズと同じ +2 で 6 位タイに入ったことでしょうか。ナイス。優勝は -3 のミケルソン。松山は三日目でのスロープレーでの罰打を乗り越えてのベスト 10 入りだから、素晴らしい。

-----

この週末は結構忙しかった。日曜日に大阪で一つ講演会を引き受けたために 10 時半の新幹線で移動し、仕事を済ませて直ぐ帰ってきて開票速報番組に。一つ気がついたのは、多分土曜日からでしょうが新幹線の乗客がガラッと変わったということ。いつもは東海道新幹線はビジネスマンのラインですが、この週末からは観光を含めていろいろな目的の人が混じっていた。私の周りは普段は見かけないタイプの人ばかりでした。まあ日本にも多様な人がいらっしゃることが分かって良い。

「いろいろな人が居る」と言えば、土曜日の午前中に久しぶりに築地の場内の昔良く行っていた寿司屋に行きました。最初の経営者が亡くなって、未亡人となった女性が切り盛りしていて、板さんも代替わりしている。朝気分良く寿司が食べられるのが築地の場内の寿司屋の良いところ。

それにしても、凄い人出でした。目の子ですが三分の一は海外の人でした。そのうちの三分の二はアジア系、特に台湾、中国が多い。寿司屋で私の隣の隣に座った二人組は台湾からと言っていました。面白いのは、握りのプロセス、そして出来上がり、と、彼等は（この二人は）すべて写真に収めるのです。それも一眼レフともうちょっと小型のデジカメで。二人とも二つを使い分けて二人で一緒にカメラを構えて撮る。「海外の人は皆そうですよ」と板さん。

特に気にはならない。観光客はそんなもんだらう、と。二人揃って一眼レフを構えている

姿を逆に撮ろうかと iphone に手が伸びましたが、やめておきました。大人げないので。でも彼等は食べる方は控えめだった。要するに築地を撮りに来ているのだと思いました。

それでは皆さんには良い一週間を。

《当「ニュース」は三井住友トラスト基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、三井住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したのですが、正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》